

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	此花区
学 校 名	大阪市立春日出小学校
学校長名	脇田 将明

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立春日出小学校では、第6学年41名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数とも平均正答率は、全国、大阪市のそれを下回っている。しかし、大阪市との差を一昨年度と比較すると、国語においては-11ポイントから-8ポイント、算数においては-6ポイントから-5ポイントと改善がみられる。また、無回答率についても、国語において10.8ポイントの差から3.2ポイントの差に、算数において2.8ポイントの差から1.6ポイントの差へと改善がみられる。領域別に見ると、国語では「書く」（-10.1ポイント）「読む」（-11.8ポイント）領域において大阪市と比べ差があるが、「話す・聞く」領域においては-2.8ポイントと健闘している。算数では「数と計算」領域において大阪市と比べ-14.0ポイントと差があるが、「図形」領域においては+3.9ポイントと大阪を上回っている。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

4年前から「相手に伝わるように自分の思いを話す子どもを育てる」と研究主題を設定し、協働的な学習の実現を目指して取り組みを重ねてきた。その中で、指導者が主導しすぎず「待つ」ことを意識することで、児童自ら提案し検討する経験を積み重ねることができた。また、SST（ソーシャルスキルトレーニング）に発達段階に応じて取り組み、コミュニケーション力やそれに必要な語彙力を伸ばすことができた。それらは「話す・聞く」領域や「言葉の特徴や使い方に関する事項」で成果が表れている。しかし自分の思いや考えを文章に書き表したりまとめたりすることや、一方的に書かれた文章から書き手の主張や意図を読み取ることはまだ経験が足りないとみられ、「書く」「読む」力が課題である。

〔算数〕

「相手に伝わるように自分の思いを話す子どもを育てる」という主題に加えて研究教科を算数科に設定してから3年目になる。問題発見・解決の学習を積極的に設定し、各場面で言語活動を充実させ、問題解決の過程や結果を振り返り、よりよい解決方法を求めて検討する授業展開を心掛けてきた。その結果、各領域・各観点で大阪市の平均正答率と比べてほとんどが下回っているものの、数値を見るとそのほとんどで健闘しているという見方もできる。大きく上回っている領域も出てきた。「数と計算」領域において、日常生活の事象を数理的に処理する力や、既習の知識や技能を基に、別の場面の解決方法を考える力に課題がみられる。

質問紙調査より

「自分にはよいところがある」「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」と答えた児童の割合が全国を上回っている。主体的に話し合いに参加し、検討し、決定してきた経験が高い自己肯定感につながっている。友だちと話し合う活動（協働的な学習）について肯定的に捉えている児童の割合が全国より高く、その成果を実感できている。国語に関する質問の回答から、教科に関する調査に表れていた「話す・聞く」における成果と「書く」「読む」における課題について児童自身も自覚しているということがわかった。「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた児童の割合が全国より低いので、学習したことを日常生活に活かしたり自己のキャリア形成の方向性と関連づけたりできるよう指導を工夫していく必要がある。「学校の授業時間以外の学習時間」について、1日1時間より少ない児童が平日で全国の約1.2倍、休日になると約1.7倍となっている現状がある。「新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中の学習」についても「勉強について不安を感じた」と答えた児童の割合は全国の約1.4倍となっており、家庭での自学・自習の習慣を身につけさせていくことや環境を整えていくことが必要である。

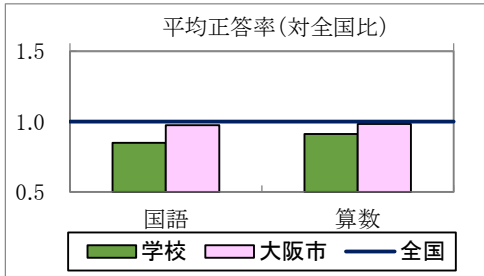
今後の取組(アクションプラン)

子ども同士が対話を通じて知識や技能を相互に関連付けて習得し、社会における様々な場面で活用できる「生きる力」を育むための有効な手段・方法として多くの「協働的な学習」の実践が行われ広がりを見せている。本校でも引き続き「対話を通じた協働的な学び」の研究を推進し、言語の習得、言語を活用する力の習熟、相手の気持ちを大切にすることの育成に取り組んでいく。その中で児童一人ひとりの学習理解度及び学習状況等の把握・分析と課題へのきめ細かな対応を行うことで基礎的な知識・技能の定着、発展的な指導を通して国語科における読解力・表現力や算数科における論理的思考能力、日常生活の事象を数理的に処理する力等の向上を図る。また、指導者が「待つ」ことを意識し、児童の主体的な思考・行動を促すことで、目的意識と見通しをもって学習に取り組む習慣を身につけさせる。そうすることで自ら進んで計画的に自学・自習に取り組むことができる子どもを育てていきたい。

【 全体の概要 】

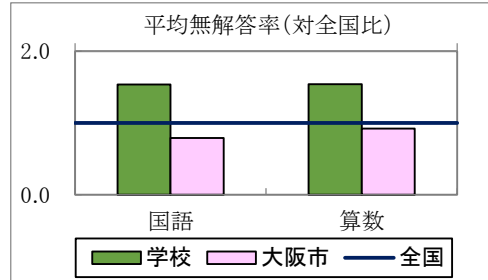
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	55.0	64.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

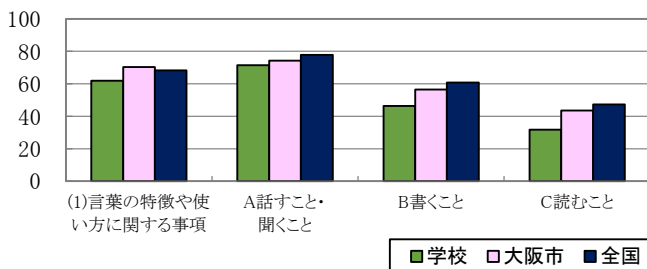
	国語	算数
学校	6.6	4.0
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



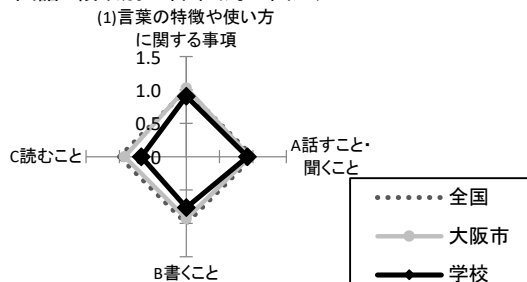
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	61.8	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	71.5	74.3	77.8
B 書くこと	2	46.3	56.4	60.7
C 読むこと	3	31.7	43.5	47.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



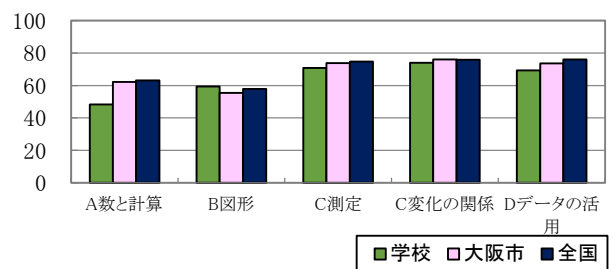
国語 領域別正答率(対全国比)



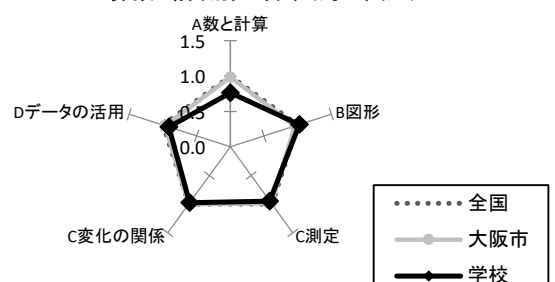
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	48.2	62.2	63.1
B 図形	3	59.3	55.4	57.9
C 測定	3	70.7	73.8	74.8
C 変化と関係	3	74.0	76.0	75.9
D データの活用	5	69.3	73.6	76.0

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

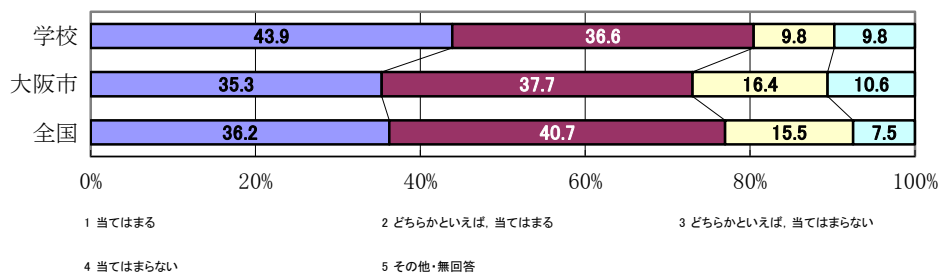
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

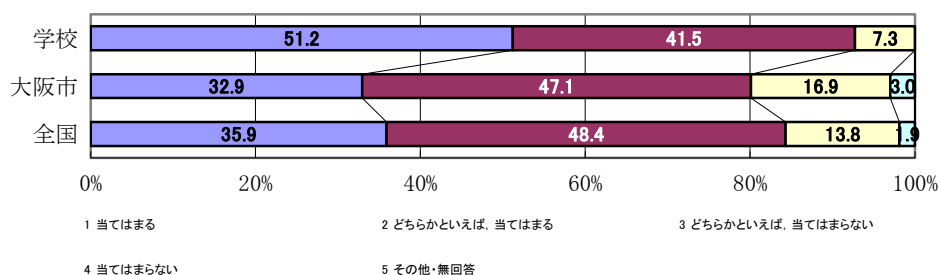
6

自分には、よいところがある
と思いますか



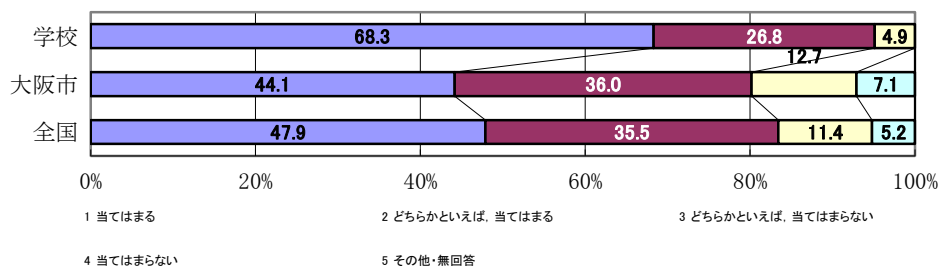
8

自分でやると決めたことは、
やり遂げるようにしていますか



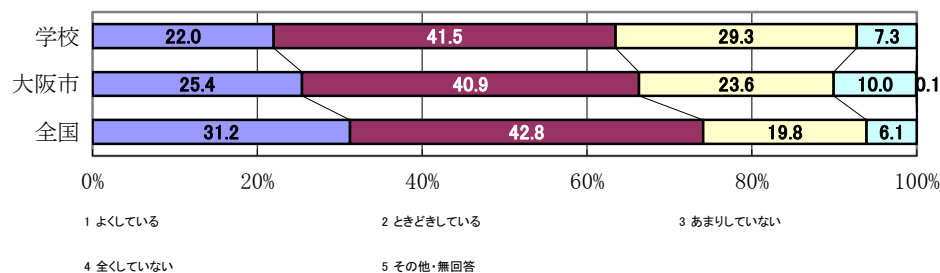
13

学校に行くのは楽しいと思
いますか



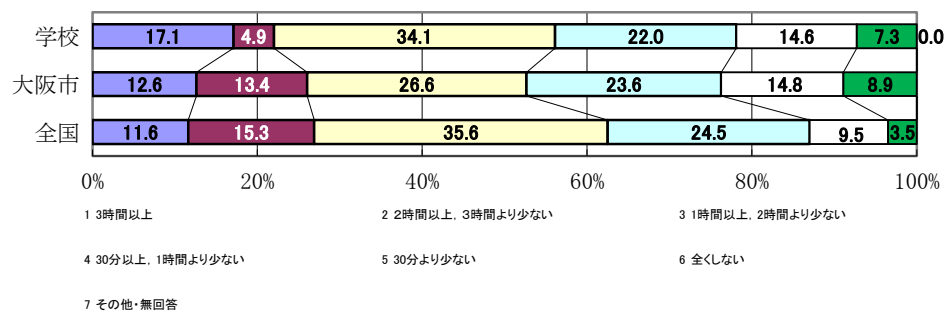
17

家で自分で計画を立てて
勉強をしていますか(学校の
授業の予習や復習を含む)



18

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれぐらいの時間、勉強を
しますか(学習塾で勉強してい
る時間や家庭教師の先生に教
わっている時間、インターネット
を活用して学ぶ時間も含む)



児童質問紙より

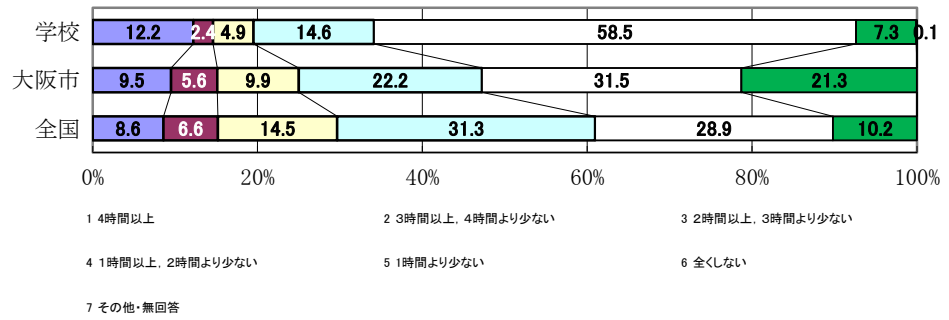
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

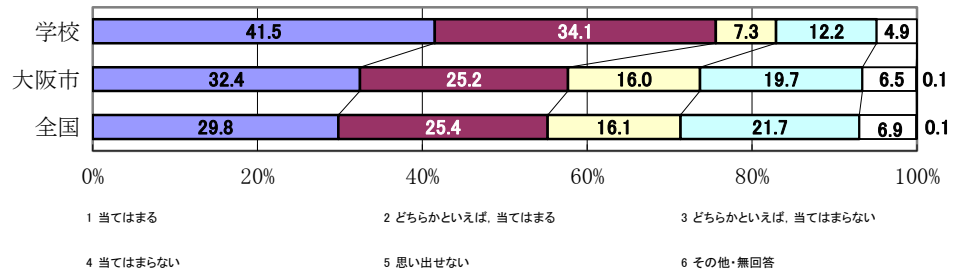
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



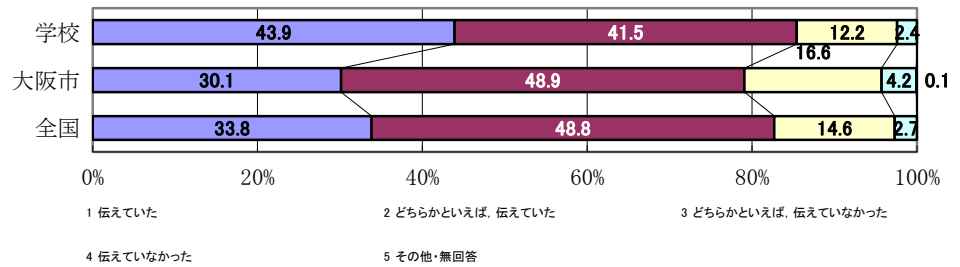
64

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか



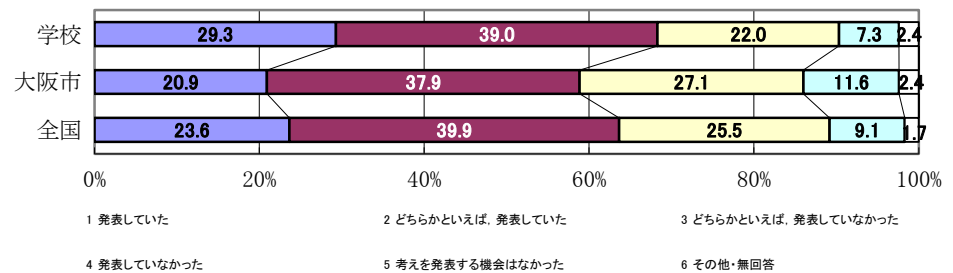
31

5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか



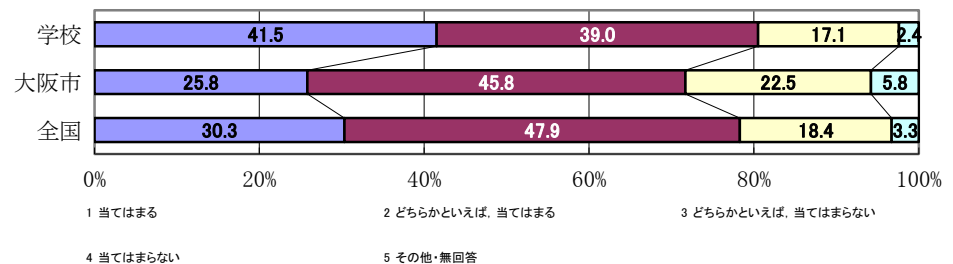
32

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



33

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



児童質問紙より

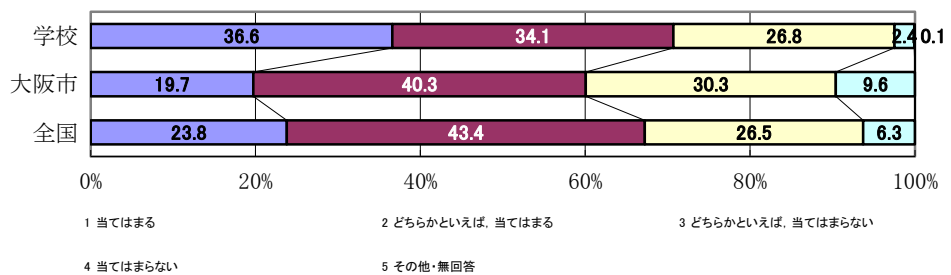
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

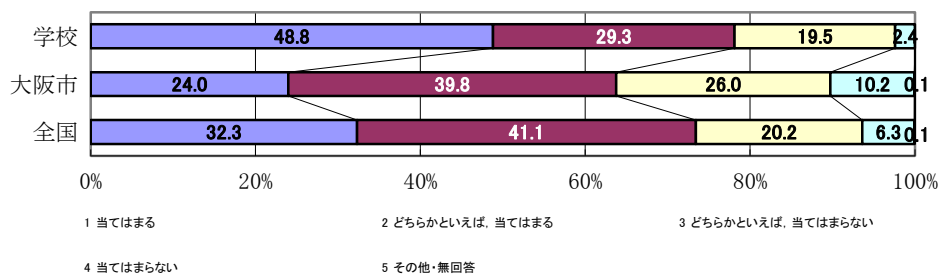
34

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか



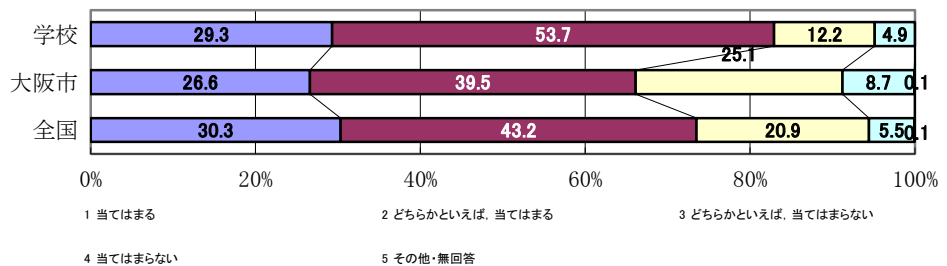
40

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



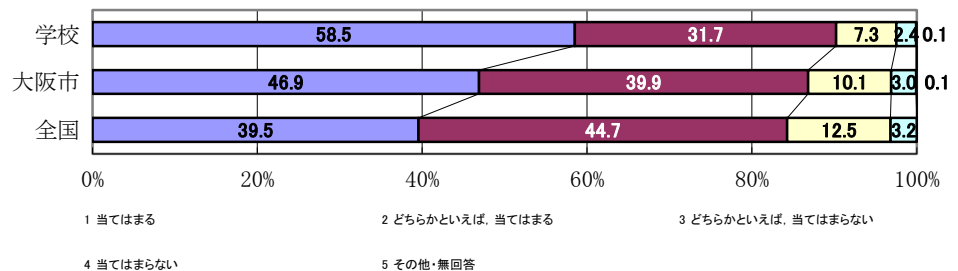
41

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



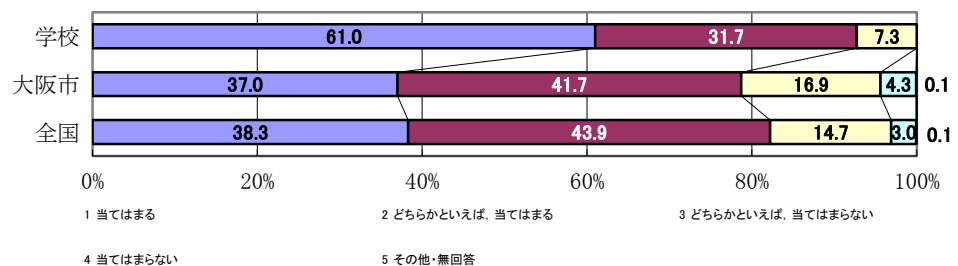
45

国語の授業の内容はよく分かりますか



47

国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか



児童質問紙より

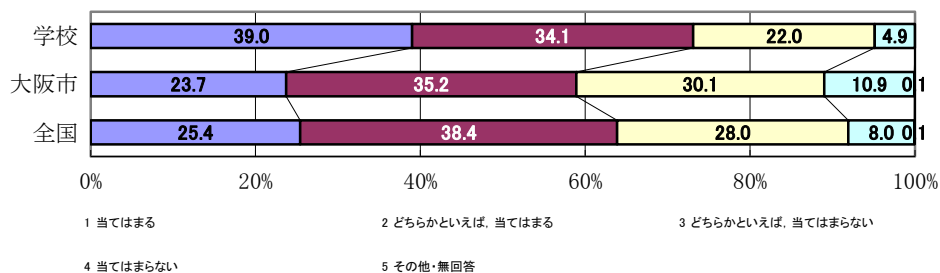
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

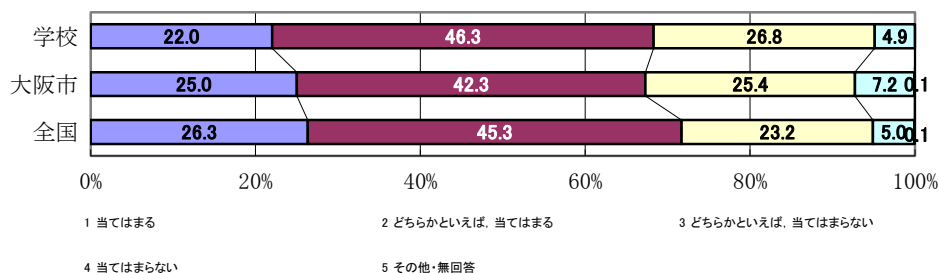
48

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか



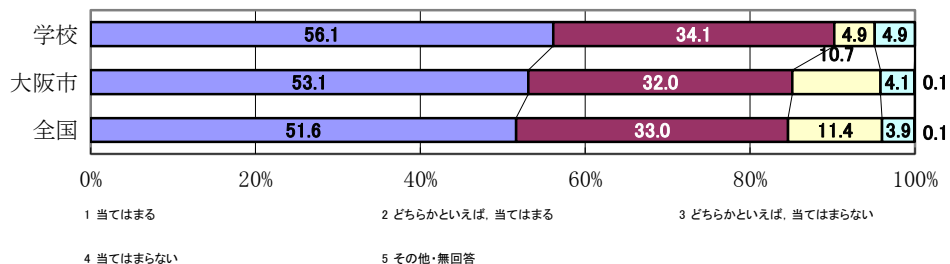
49

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか



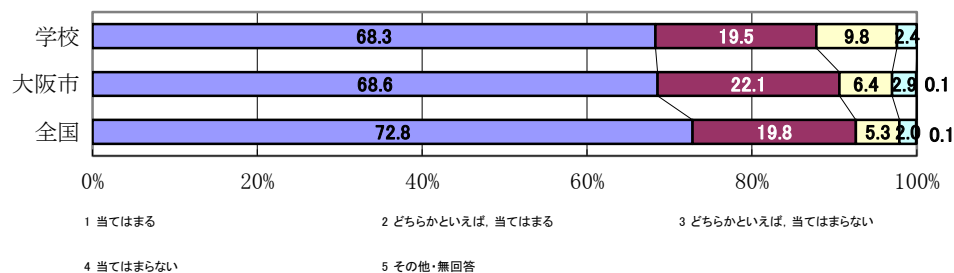
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



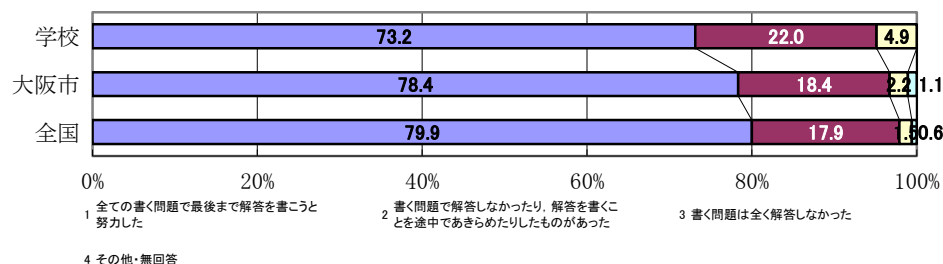
55

算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



60

今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか



児童質問紙より

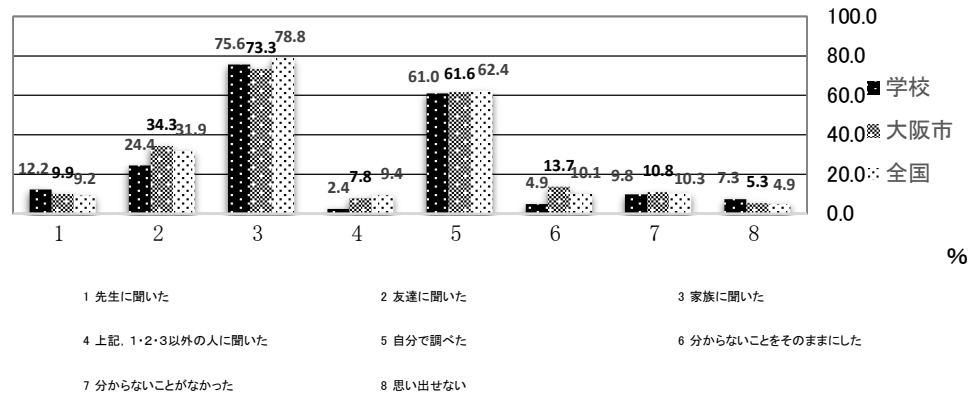
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

67

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。当てはまるものをすべて選んでください



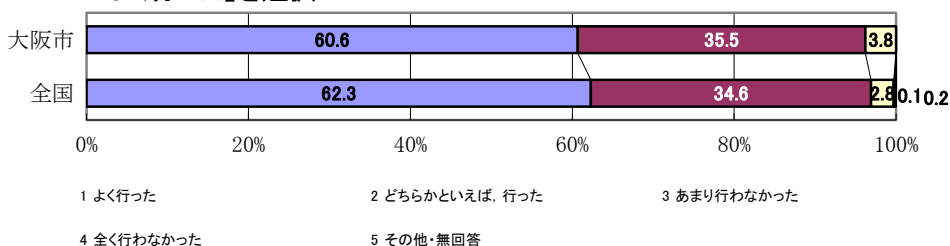
学校質問紙より

質問番号
質問事項

10

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持しましたか

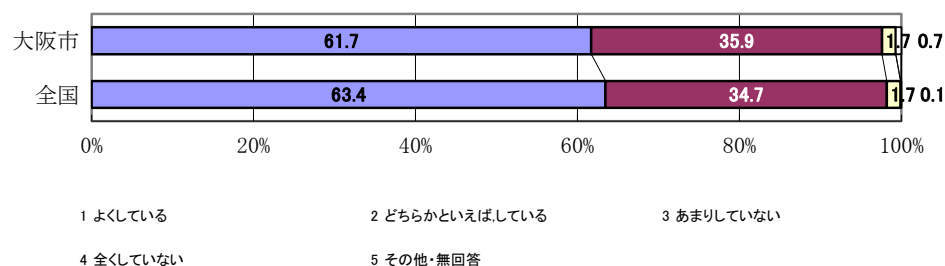
学校 「よく行った」を選択



23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

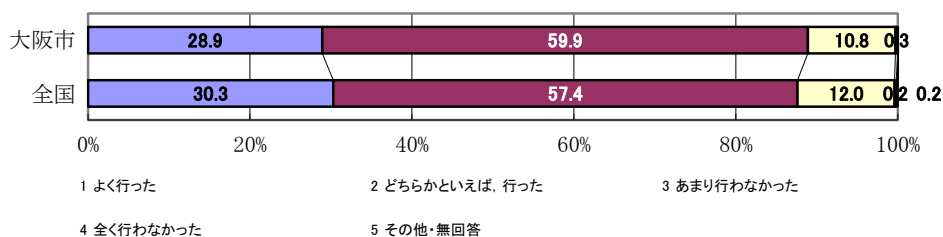
学校 「よくしている」を選択



34

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

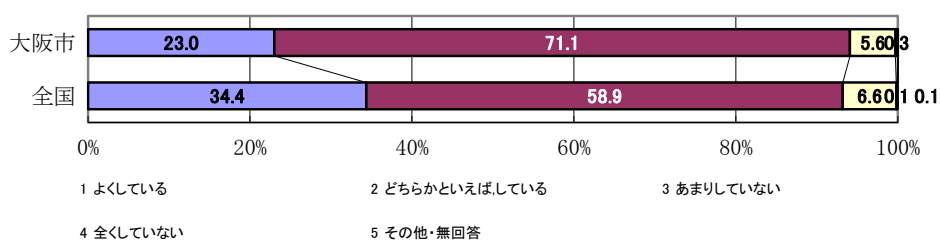
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



43

調査対象である児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



82

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択

